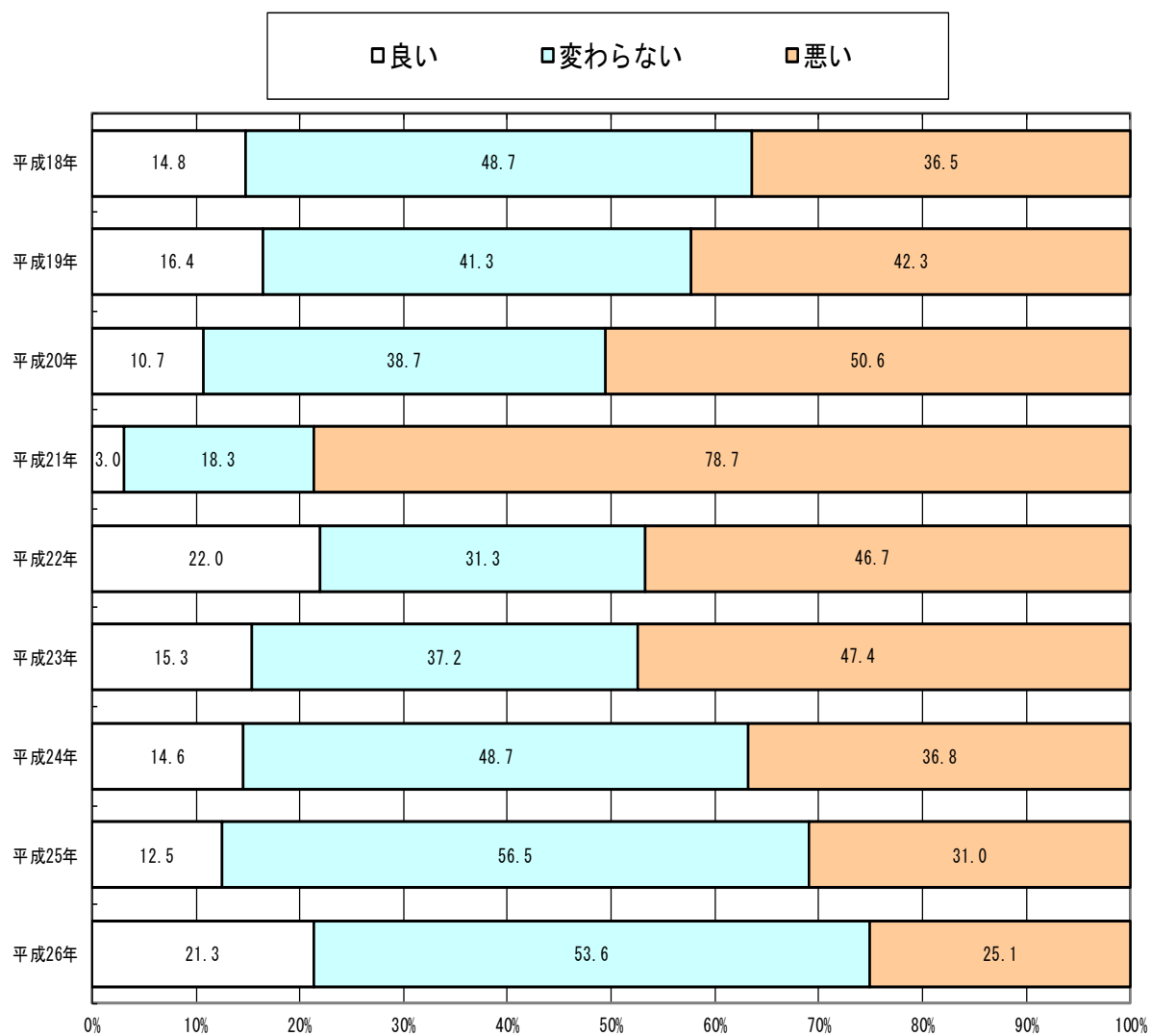


3. 経営状況

1年前と比べた経営状況について、「良い」とする事業所は、21.3%で、昨年（12.5%）より8.8ポイント増加した。また、「変わらない」とする事業所は53.6%で、昨年（56.5%）より2.9ポイント減少した。

一方、「悪い」とする事業所の割合は25.1%で、昨年（31.0%）より5.9ポイント減少した。

第5図表 経営状況（年度別）



次に、1年前と比べた経営状況について、製造業と非製造業を比較すると、「良い」とする事業所は、製造業20.1%、非製造業22.7%であった。一方、「悪い」とする事業所は、製造業27.6%、非製造業22.3%で、製造業は昨年（33.8%）より6.2ポイント、非製造業は昨年（28.2%）より5.9ポイント下回っている。

業種別にみると、「良い」とする事業所の割合が最も高いのは、「設備工事業」33.3%、次いで「窯業・土石」32.4%、「総合工事業」32.1%の順となっている。

一方、「悪い」とする事業所の割合が最も高いのは、「印刷・同関連」52.0%、次いで「対個人サービス業」43.8%、「食料品」41.9%の順となっている。

規模別にみると、「良い」とする事業所の割合が最も高いのは、「10～29人」で26.4%、一方「悪い」とする事業所の割合が最も高いのは、「1～9人」で36.1%となっている。

第6図表 経営状況（業種別・規模別）

